

2017年12月期 第1四半期 決算説明資料



超生産型CNC立形複合研削盤
PGV-3

株式会社 太陽工機

将来予測について

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性及び変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

第1四半期 決算概要

損益計算書(P/L)

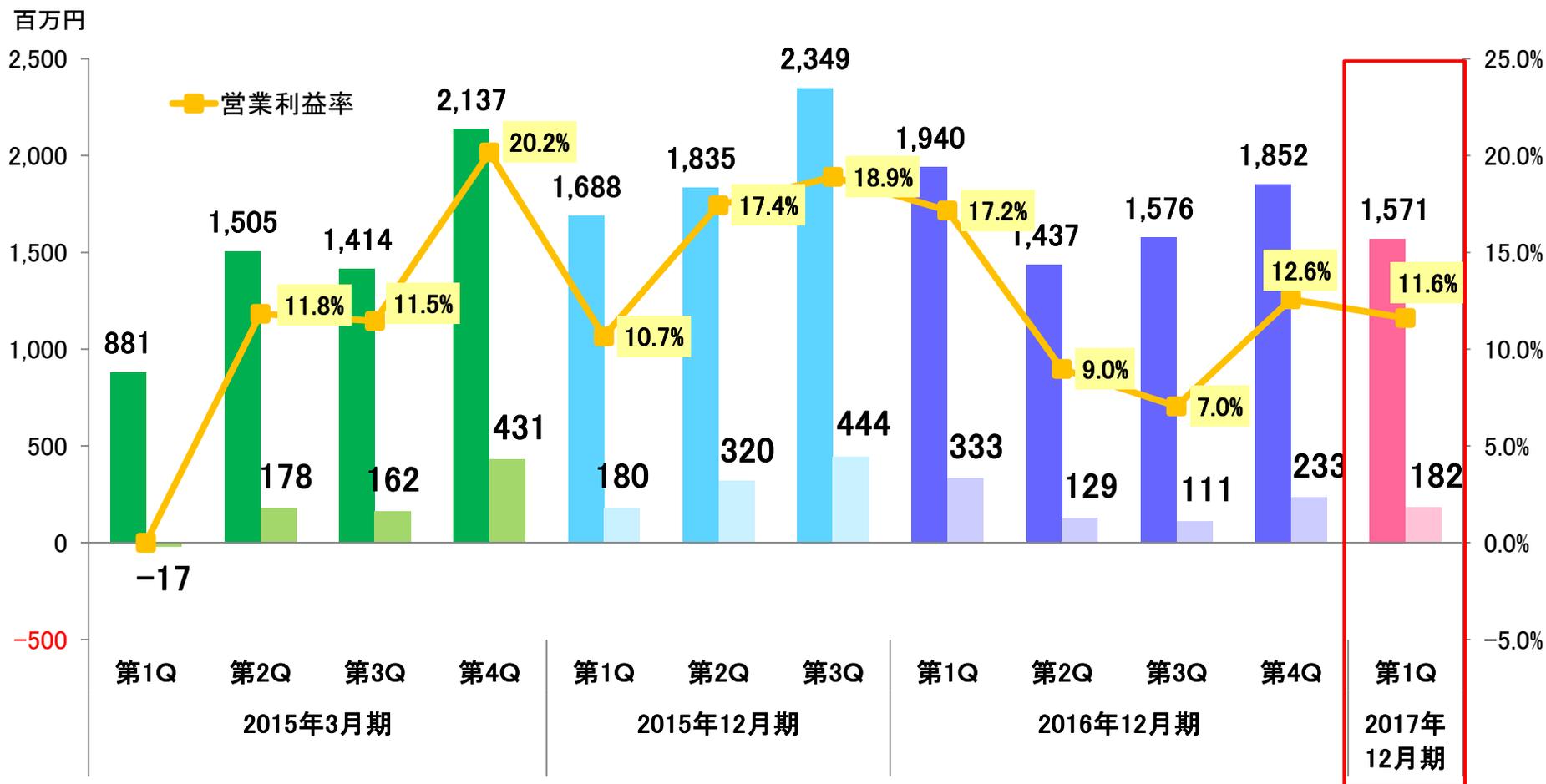
計画通りの売上を達成。

上期売上計画33億円に向けて順調なスタートを切る。

(百万円)	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期		2017年度 上期
	実績	実績	対前年比	計画(公表値)
売上高	1,940	1,571	19.0 %減	3,300
営業利益	333	182	45.2 %減	400
(営業利益率)	(17.2%)	(11.6%)	5.6 point減	(12.1%)
経常利益	331	179	45.9 %減	390
当期純利益	209	120	42.6 %減	250

売上高・営業利益(四半期別推移)

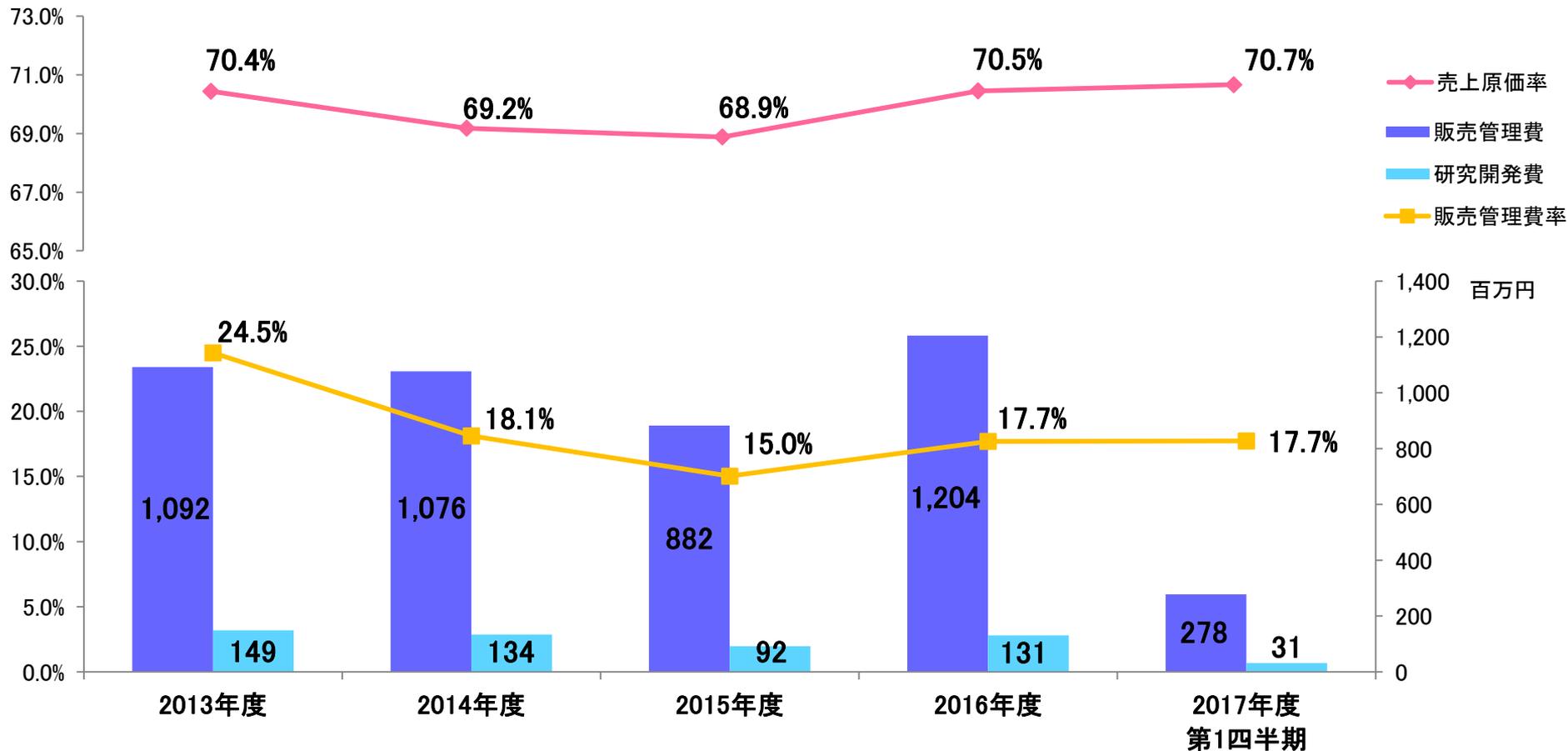
第2四半期で、売上の増加及び利益の積み増しを見込む。



※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっております。

売上原価率・販売管理費率

原価率はやや上昇したが、第2四半期で低減を見込む。



システム機：ロボット、搬送ユニット等を付加した自動・無人運転可能な機械

貸借対照表(B/S)

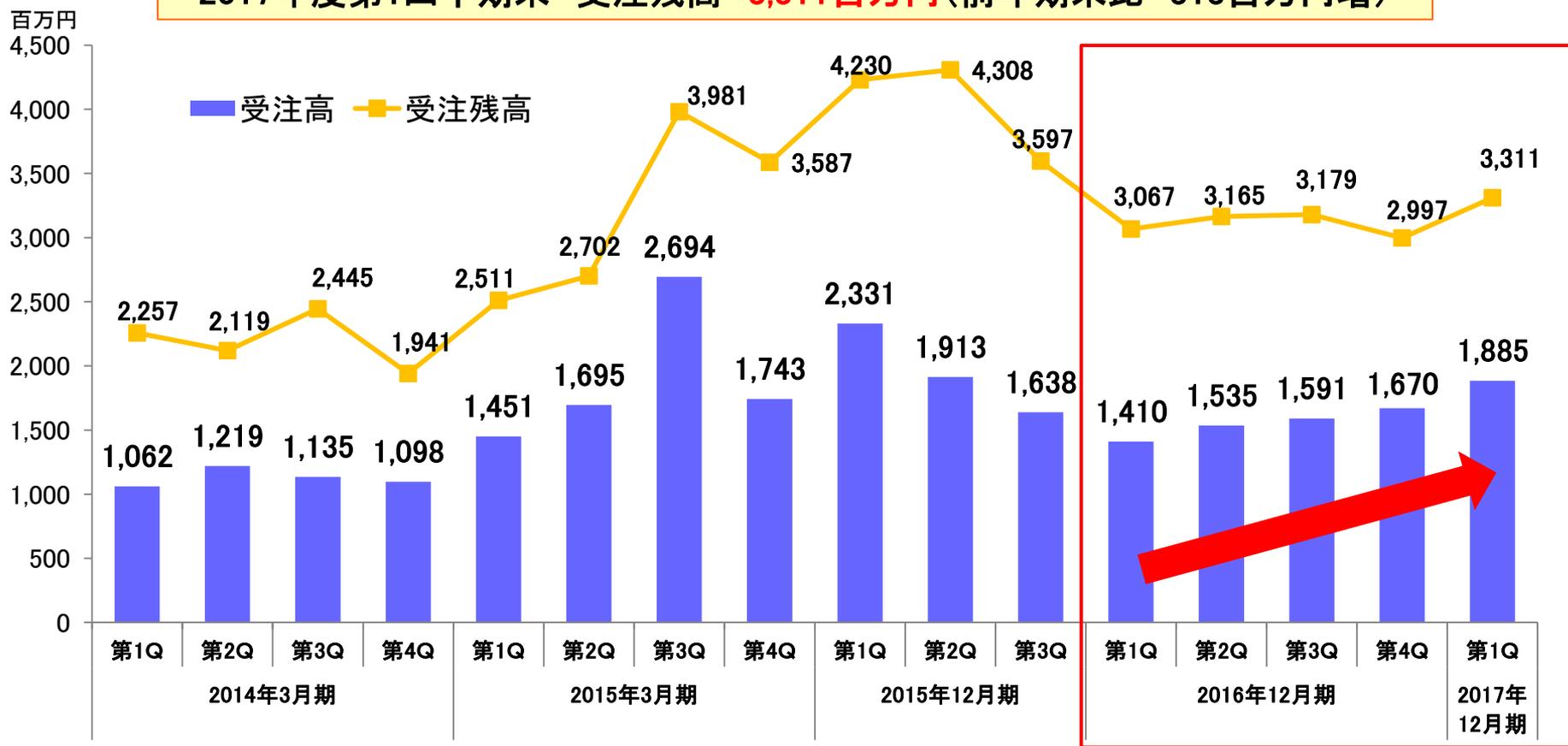
(百万円)	2016年度	2017年度	
	12月31日	3月31日	増減
資産の部			
流動資産	3,930	4,070	140
現金及び預金	436	495	59
売掛金	1,748	1,544	▲ 204
棚卸資産	1,196	1,442	246
関係会社短期貸付金	450	500	50
繰延税金資産	59	52	▲ 7
その他流動資産	40	35	▲ 5
固定資産	1,207	1,227	20
建物	597	588	▲ 9
土地	297	297	0
其他有形固定資産	199	221	22
無形固定資産	32	31	▲ 1
投資その他資産	80	88	8
資産合計	5,138	5,297	159

(百万円)	2016年度	2017年度	
	12月31日	3月31日	増減
負債純資産の部			
流動負債	668	842	174
買掛金	214	382	168
未払法人税等	142	59	▲ 83
未払費用	80	143	63
未払消費税	14	26	12
製品保証引当金	38	38	0
役員賞与引当金	0	13	13
その他流動負債	179	180	1
固定負債	576	560	▲ 16
リース債務	547	532	▲ 15
長期未払金	29	28	▲ 1
純資産	3,892	3,895	3
株主資本	3,892	3,895	3
負債純資産合計	5,138	5,297	159

受注高・受注残高(四半期別推移)

国内を中心に受注は順調に回復。受注水準は確実に増加。

2017年度第1四半期 受注実績 **1,885百万円**(前年同期比 33.7%増)
 2017年度第1四半期末 受注残高 **3,311百万円**(前年期末比 313百万円増)

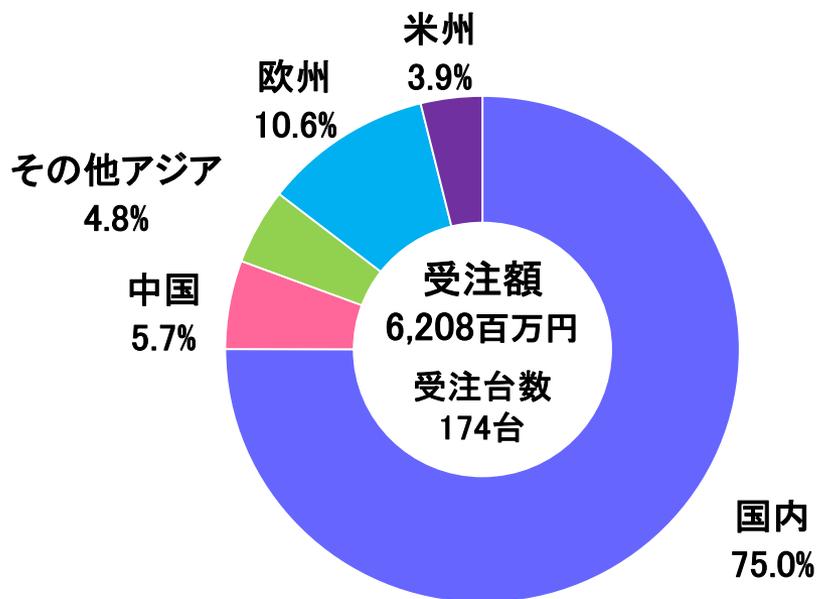


※2015年12月期は決算期変更により2015年4月から12月までの9ヶ月決算となっております。

海外受注比率(据付地・受注金額ベース)

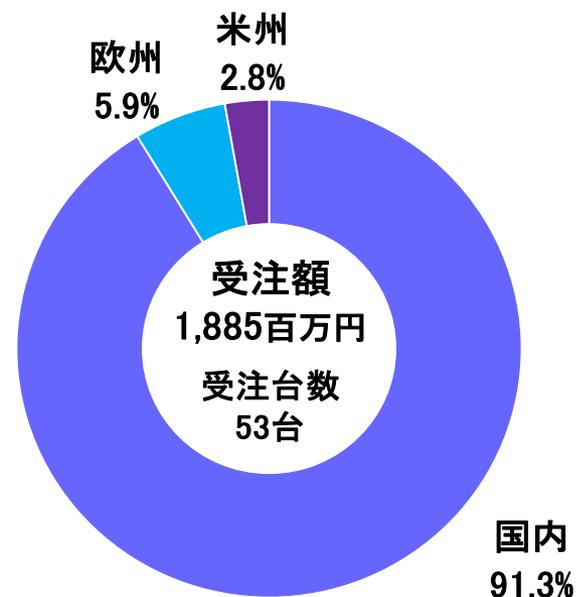
海外比率は減少するものの、
海外現地ユーザからのリピート受注や新規受注を獲得。

2016年度 通期



海外25.0%
うち海外現地ユーザ21.0%

2017年度 第1四半期

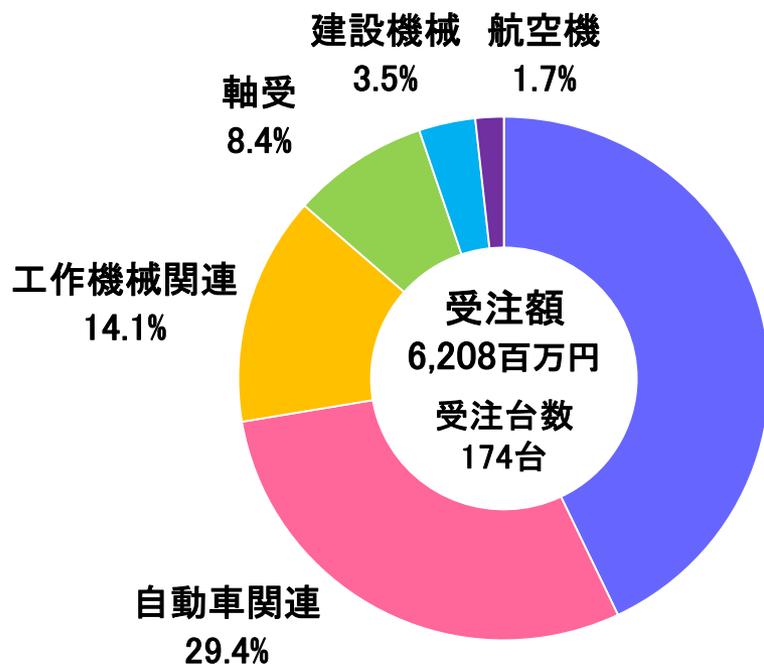


海外8.7%
うち海外現地ユーザ8.7%

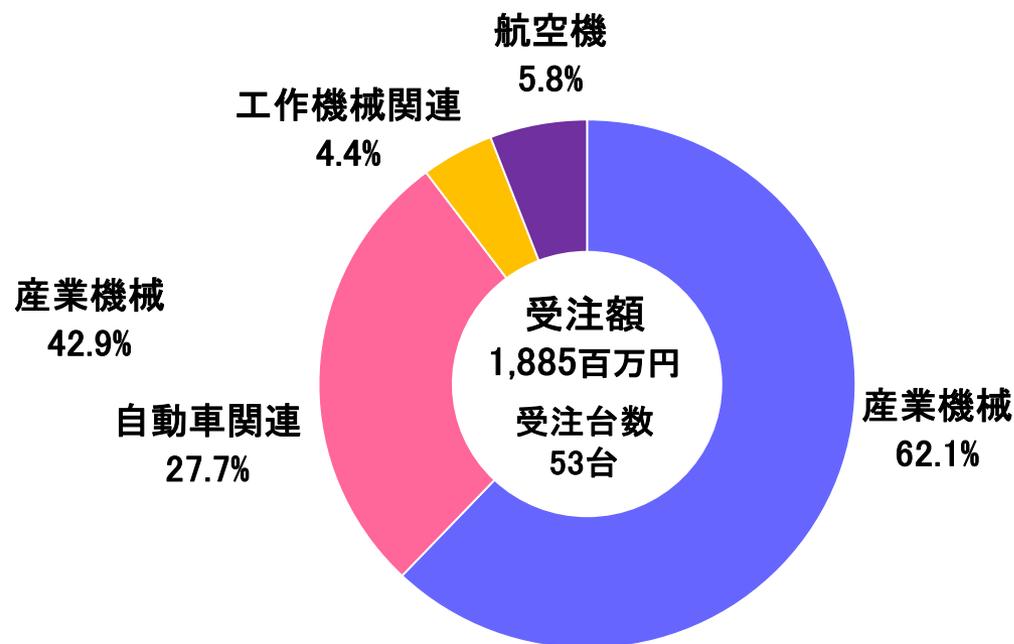
ユーザ業種別受注比率(受注金額ベース)

国内の産業機械関連企業、自動車関連企業からの設備投資需要が好調。大口受注や複数台受注を多数獲得。

2016年度 通期



2017年度 第1四半期



当社の取り組み

2017年度の展示会出展状況

DMG森精機小倉プライベートショー

2017年4月6日(木)～4月8日(土)

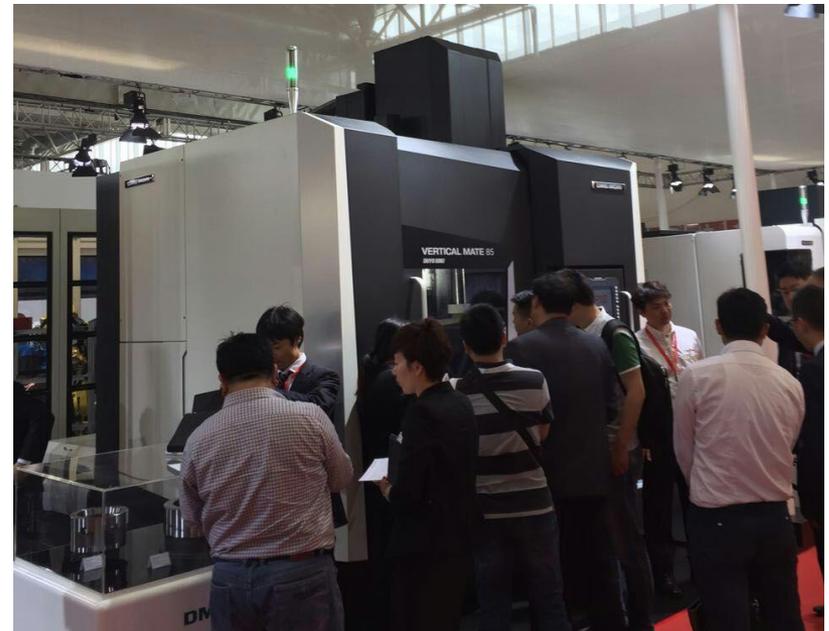
会場:北九州市



CIMT2017

2017年4月17日(月)～4月22日(土)

会場:北京



- ・国内、中国を始めとした海外のお客様に当社製品の技術力をアピールする絶好の場となった。
- ・それぞれの展示会において、会期中に受注を獲得。また多数の引合をいただく。

2017年度の新規開発

生産性の向上

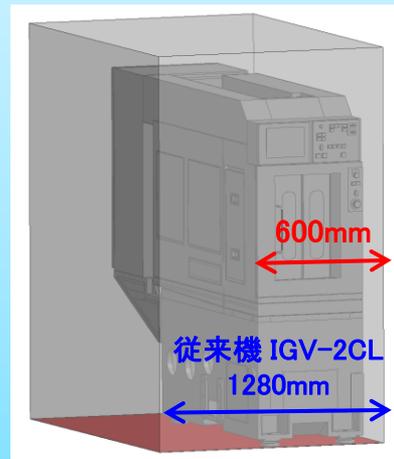
カム加工の高能率化

フロアスペースの効率化

立形高速カム研削盤 「USG-2CL」

<ターゲットユーザ>

自動車関連:
エンジンカム、
コンプレッサ関連部品
油圧関連:ポンプ

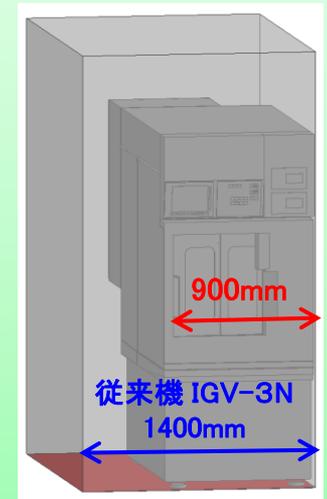


超小型立形研削盤 「USG-3」

2016年度の新機種
「USG-1」のラインナップを
拡充

<ターゲットユーザ>

自動車関連の
小型量産部品



Coming Soon! 2017年6月22、23日開催予定の
太陽工機プライベートショーにて発表予定!

営業施策

グローバル営業の強化

- ・ユーザへのダイレクトな技術提案営業の推進
- ・世界最大手メーカー ⇒ 中堅メーカーへの展開
- ・駐在員及び現地技術営業スタッフによる営業活動の強化
- ・DMG森精機主催の展示会及び現地展示会への出展
- ・サービスマン駐在による海外サービス体制の確立

米州

＜ターゲット業種＞

航空機、産業機械、
建設機械、ベアリング 関連

欧州

＜ターゲット業種＞

産業機械、航空機、
自動車 関連

アジア

(中国、韓国、台湾、他)

＜ターゲット業種＞

産業機械、建設機械、
自動車 関連

国内市場の掘り起こし

- ・自動車関連業界、産業機械関連業界への新製品の投入、拡販
- ・立形以外の横形研削盤、カムリング研削盤、ネジ研削盤の拡販
- ・リピートユーザの需要掘り起こし

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成したのもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問合せ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL :0258-42-8808

URL :<http://www.taiyokoki.com>